



消防署南支署開署式(福寿野)

3月定例会概要、議案審議……………2～3P
予算審査特別委員会……………4～7P
一般質問……………8～15P
第6次基本構想への提言……………16P
一般質問のゆくえ・委員会活動…17～18P
議会報告会・町民の声……………19P
えがったなあ・編集後記……………20P



舟形分署閉署式

3月定例会
4日~11日

緊急経済対策議決

林道松橋滝の沢線舗装5,242万円
町道長沢1号線外流雪溝等整備6,000万円
学校施設改修3,100万円など総額3億2,750万円

3月定例会は、4日より11日までの会期で開催されました。
一般質問に続き、一般会計、特別会計補正予算、舟形町第6次基本構想など全議案を原案通り可決しました。
22年度予算案は、特別委員会を設置して審査を行い、本会議で可決しました。

町第6次基本構想

平成22年度から31年度まで

辺地総合整備計画（太折地区）

道路改良事業費 1億円

緊急経済対策事業基金条例

基金額 3,000万円

3月補正予算

会計名	補正額	予算総額
◎一般会計	3億7,000万円	42億2,063万円
◎特別会計		
国民健康保険	1,080万円	7億2,360万円
後期高齢医療	206万円	6,246万円
介護保険	△740万円	6億3,900万円
簡易水道	2,990万円	2億6,700万円
農業集落排水	△120万円	3億5,450万円
公共下水	△90万円	1億6,470万円

主な付議事件

- ◎一般会計、特別会計補正予算
- ◎町職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- ◎町児童プール設置及び管理に関する条例の一部改正
- ◎町長等の給与に関する条例の設定
- ◎町教育委員の任命

質 疑 応 答

定例会

●一般会計補正予算

議員 町道長沢1号線外流雪溝等整備の事業費と工事期間は。また、橋の上流ダムから流れてくる水路の整備は。

振興課長 今年度の事業費は6,000万円です。来年度以降は1億円を見込み、3年かけて工事します。橋の上流からの水の確保は、調査の中で対応していきたいと思います。



毎年雪になやまされている（長沢1号線）



第5回全国どぶろく研究大会（学習センター）

議員 林道松橋滝の沢線の工事発注について、一つの会社でなく工区を分散して発注する考えは。

振興課長 工事内容は、アスファルト工事1,600m、水路工事2,000mの予定です。可能な限り多くの業者に工事をしていたらいいと考えて指名業者審査委員会に要望します。

議員 猿羽根山公園管理事業費の210万円の内容は。

まちづくり課長 重機が現場に入る場合、仮設道路に経費がかかるので、それを削減するために雪で道路を作り、展望台や歩道橋の解体をする経費です。

議員 全国どぶろく研究大会事業で時間外勤務手当を50万円補正しているが、どうしてか。

まちづくり課長 12月18日まで51人の申し込みがなかったため、280人を集めるのに想定外の時間外勤務手当が出てしまいました。今後気を付けます。

議員 毎年時間外が多くなり今年度は700万円になっている。機構改革と矛盾していると思うが。

総務課長 業務量が毎年多くなる中、時間外手当が大きくなってしまいます。今後できるだけ時間を増やさないよう努力します。

●第6次基本構想

議員 基本構想10カ年の中で3年ごとの見直しをどう進めるのか。

まちづくり課長 具体的な事業について3年目ごとに検証し、変更・追加を議会に報告しながら進めていきます。

●児童プール設置及び管理に関する条例の一部改正

議員 大平児童プール解体について、跡地利用は町民課長 町の土地です。整地をし、駐車場等を考えています。

予算総額52億3,240万円

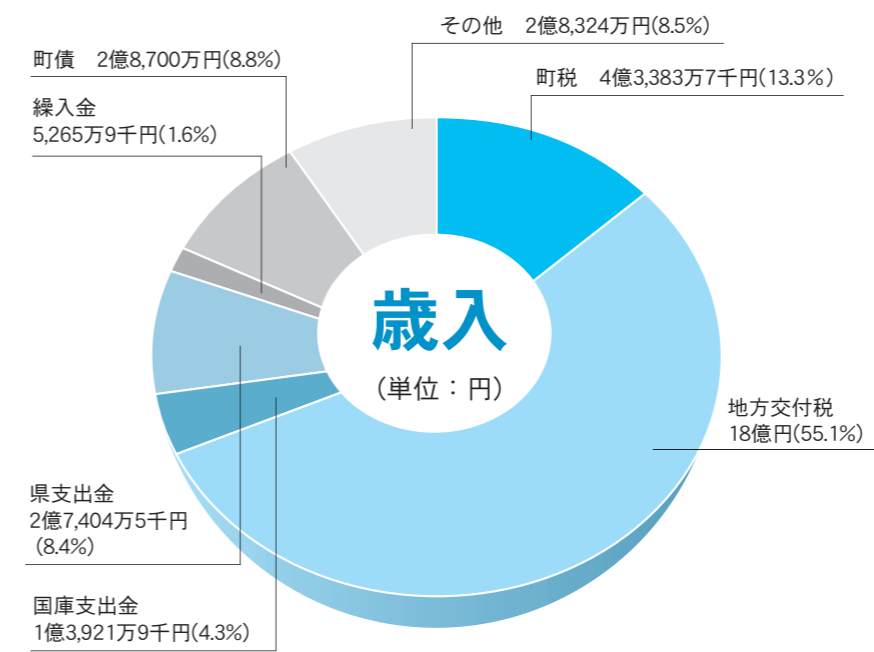
原案どおり承認



野尻 益夫 委員長

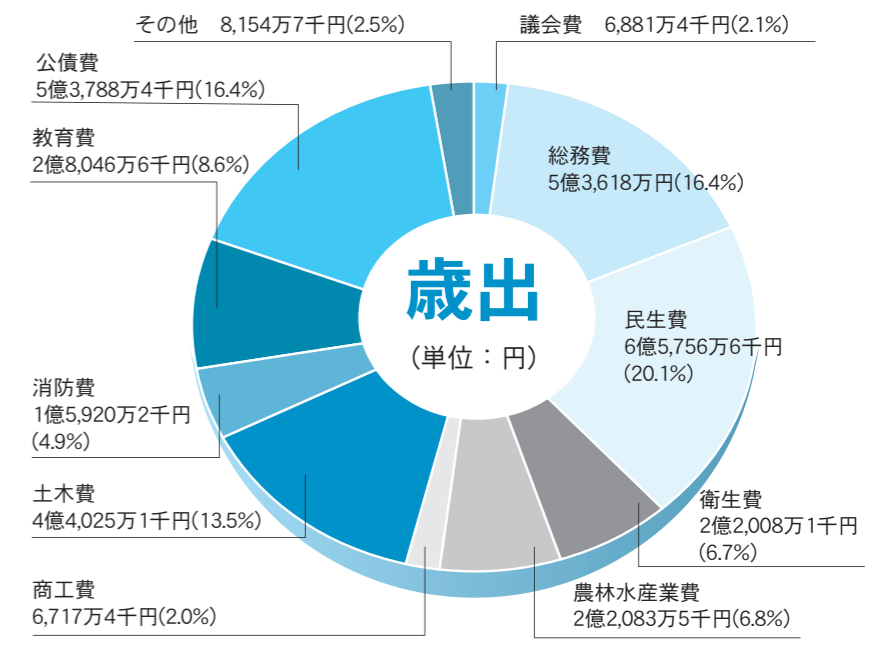
平成22年度予算審査は、3月8日より11日まで議長を除く議員全員による予算審査特別委員会を設置し、委員長に野尻益夫文教民生常任委員長、副委員長に叶内太一議会運営委員長を選任し、一般会計及び特別会計を審査し、原案通り承認し、議長に報告しました。

一般会計 32億7,000万円



特別会計 19億6,240万円

国民健康保険	6億4,540万円
老人保健事業会計	40万円
後期高齢者医療	6,460円
介護保険	6億4,400万円
簡易水道	1億8,700万円
農業集落排水	2億4,800万円
公共下水道	1億7,300万円



予算審査特別委員会

質疑応答

一般会計 歳入

議員 「子ども手当」に対する町の持ち出しはあるのか。町としての考えは。

町民課長 今までは児童手当として地方が負担した分はそのまま負担することになります。総額8,357万円のうち町の負担は1,019万5千円です。

副町長 従来の児童手当にこれまで同様に町が一部負担することはいたしかたないと思いますが、新子ども手当については国が責任をもって支給していただきたい。

議員 民生費負担金減額の内容は。

町民課長 保育料の改正によるもので、所得税額が4万円未満の世帯を中心に対象世帯が増えたためです。

歳出

議員 地域づくり支援事業補助金、交付規定では1町内10万円が限度では、地域協働事業は21年度で終了ではないか。

まちづくり課長 1団体10万円ではなく、新しい地域づくりの要項に基づいてモデル地区へ29万円の補助金を想定しています。地域協働事業は、町づくり意見交換会で継続の要望が出されていますので、1年間延長して事業を行います。

議員 町内の防犯灯は夜間女性の一人歩きや通行に暗く危険なので、明るい防犯灯の設置の考えは。

総務課長 集落と集落の間は防犯灯ということでは町で管理しています。各町内で同じような質問、要望が出されているので、見直しを含めて検討します。

議員 医師住宅の改築と夜間診察の対応は。

町民課長 住宅の老朽化が進んでいるので改築する予定です。夜間診察は、今後要望していきます。

議員 子宮頸がん予防のワクチン接種に対して町として助成を考えるべきではないか。

町民課長 このワクチンは、日本では昨年12月から接種可能になり、10歳以上を対象に3回接種費用は5万円程度と聞いています。今後、国や県の動向をみながら対応を検討していきます。

議員 耕作放棄地が増大する中、町として今後の対策は。

振興課長 農業委員会の調査では、160haあり耕作放棄地対策事業として10万円の経費のときは5万円、5万円〜10万円の場合は3万円の補助があります。また、復旧ができない場合は県の指導と農業委員会の判断で現地調査を含め地目変更をしていきたいと考えます。



入学式（長沢小学校）

議員 小学校の統廃合については、子どもの減少のスピードが増す中で、年次計画を早急に作成して提示すべきではないのか。

教育長 小学校の統廃合については、教育上の効果的な問題と、地域から学校がなくなることや地域の活力がなくなることへの不安の声に対する説明や解決手段の提示をしない限り理解を得られません。今後、地域に入って小学校の教育環境のあり方について説明をし、町内全域が同じような環境の中で教育を受けられるように整備をしていく努力をしていきたいと思います。



中山間直接支払い事業（内山地区）

議員 緊急雇用対策事業として支障木の伐採等をしたが、仕事に従事した日数があまりにも少なかったという声がある。雇用期間の設定をどう指導したのか。

振興課長 今回の事業は月に20日、3カ月間で60日として積算しました。そのような声があれば21〜23年度までの事業ですので、雇用の確保の面から職の無い方々を雇用するのが大きな目的ですので、このようなことがないよう指導していきます。

議員 中山間地域等直接支払交付事業は、新旧事業合わせて10年目になる。来年度から事業形態が少し変わると思うが、同額の予算となっている。見通しは。

振興課長 21年度で終了しますが、22年度から新年度の事業としてスタートします。12月の予算段階では不透明な点がありましたので、21年度まで取り組んでいたいただいている集落協定をもとに予算を計上しています。情報が入り次第、集落座談会をしたいと思っています。

議員 毎年、漁業組合に補助金を交付しているが、同じ流域の中で最上町は、何分の1というような補助体制になっている。町長は前回も最上町と協議するという答弁だったが、その後の経過は。

町長 以前は、同額でしたが、舟形町はそのまま、最上町は予算が減額となったという経過があります。同額にすべきだと思っていますので、これからも話をしてみます。

議員 建設機械整備費のロータリー除雪車は、昨年度と同じ予算額である。小型車と2台導入することはできないのか。

振興課長 補助事業上は2台の申請もできると思いますが、22年度は1台の購入になります。小型ロータリー車は老朽化も進んでいますので、小型工区の対応も含めて予算獲得をしていく必要があると考えています。

特別会計

国民健康保険

議員 医療給付費分と後期高齢者支援金分の限度額は変わるのか。

町民課長 22年度保険税の限度額は改定になる予定です。医療分は47万円から50万円、後期高齢者支援分は、12万円から13万円、介護分は据え置き10万円、3つ合わせると69万円が4万円アップし、73万円になります。

介護保険

議員 介護保険介護サービス給付費事業で、地域密着型複合施設「ほなみ」の現況は。

町民課長 4月1日の開所に向けて準備をしています。特養ホームについては定員10人で22人程の申し込みです。小規模多機能施設については通い10人、泊まり5人で12人程の申し込みです。



整備が待たれる（一の関線歩道）

議員 舟形一の関線の歩道の設置工事と富田市内の消雪施設の改修計画は。

振興課長 保育園の保護者会からの要望もあるので権利調整を図っていきたくと思っています。富田の消雪道路は専門家に調査していただき、新たな井戸とポンプ、消雪のための管路の敷設が必要であり、平成23年度以降の計画になります。

議員 中学校の制服の夏服を変えるようだが、新入生のみでなく、在校生へも制服補助の考えはないのか。

教育次長 1年生には制服補助金、3万円の補助規定があります。新2年生、3年生については今後中学校の意見、PTAなどの意見を聞きながら対応を協議します。



4月1日開所「ほなみ」

農業集落排水事業

議員 農集排に加入していない家庭があると聞か、どういう指導をしているのか。

振興課長 全町で79.5%が加入しています。融資として年25%の低利子の制度があり、PRして接続を呼び掛けています。また、なぜ加入しないのか4月以降にアンケート調査を実施し、その結果を分析して対応していきます。



大場清之 議員

行政職員の地域担当制を

行政と町内会は良きパートナー

質問 全国的に少子高齢化が進む中、わが町では老人の一人暮らしや老人世帯だけの家族構成が多くなってきました。町職員も自分の地域がどのようになっているか把握していないのが実情ではないかと思われまします。現在町の職員数は86人います。町内全戸で1723

戸あります。一人の職員で20、22戸を担当し、月に数回家庭を訪問して住民との絆を深めながら、苦情・要望・提言等を聞けば、町としての今後の方向性や、施策等の道しるべができるのではないかと考えますがいかがですか。

町長 自治体を経営していく上で地域住民の理解と協力が得られなければ、計画的で効率的な行政運営を執行していくことは難しくなると思います。

大場議員が指摘されますように行政と集落、職員と地域住民の信頼関係を深めることが、より良いまちづくりを推進していく不可欠の要因と考えています。

町では各集落の課題や問題を共有し、一緒に考え解決に向けて行動を共にするための「地域づくり支援事業」を実施しています。

具体的な提案として一人の職員が20世帯程度を受け持ち、日頃から交流を深め意見や要望をお聞きし行政に反映できないかとのことですが、行政と町内会は良きパートナーであり対等に話し合いを通して信頼関係を強め、地域づくりに貢献していくことが肝要ではないかと思えます。

これからも町内会等からの要請があればいつでも職員を派遣していきます。

町の空家対策は

質問 19年度の空家の数は51戸となっていますが、24の町内会で空家があり毎年多くなっている現状です。町外に転出する場合、町として何の規制・制約等もないため、残された住宅等は各町内会の心配の種となっています。今後、この対策をどう進めていくのですか。

町長 空家の現状と対策について議会でも議論した経過がありますが、結論から申し上げますと、行政で対応していくには大変難しい問題だと思えます。

基本的に住宅は個人の所有物・財産でありますので住宅の所有者や相続人の理解と協力を得てその対策を講じていく以外には方法は見いだせないと思えます。

民法上では所有者が不明の物件については国庫に帰属することになります。

同じような課題で解決に向けて取り組んでいる自治体があるのかも含めて今後対策を検討していきます。

ら消防南支署が開設されることもあり早急の改良が必要となっていきます。

「ほ場整備と一緒に道路改良の実施」という提案ですが、この件についても検討してきました。結論的には非常に難しいということになります。問題としては

1つ目に、ほ場整備事業の中で用地の提供ができないこと、2つ目が、ほ場整備と道路改良事業の年次が異なること、3つ目が福寿野岡矢場線と舟形大蔵線との接続箇所の問題などがあります。

本線の改良については、山形県の方には、県道への編入と整備を要望していますが、現時点では、難しいと予想されますので、町単独での整備計画も検討しています。



加藤憲彦 議員

県・町道整備の早期着工

総合的な道路網の整備計画の中で



見通しが悪く幅員が狭いので対面通行ができない状況 (主要地方道大石田畑線・本堀内地区)

質問 畑、大石田線の本堀内、通称へんぐり地内、この地区の地主が苦勞して、やっと県に登記がかけられました。いざ工事が入る時に、今の県道が河川敷のことで、その後の進展がまったくありません。2点目は、新庄村山次年子線、真木野地内左側水路は道路課・農地課と分かれ、話が見えてきません。大型トラックが通れば、交差する際に非常に危険で、堀内地区連合町内会等からも陳情があります。3点目、町道岡

矢場線は狭く非常に危険であり4月から消防南支署が開署され、早急の改良が必要です。平成22年度にはほ場整備の予定があり、その際一緒に工事ができないものか。私たちの生活には道路というものは密接な関係で、かつ安全でなければなりません。現状を踏まえた上で、の敏速な対応と町としての考えをお聞かせ願います。

町長 1番目の大石田畑線の改良事業ですが、現道幅員が狭いため県に対し早急の対応を要望しています。当初、本事業については、本年度実施する予定ということでしたが、次年度事業になるということになります。

その理由として、道路敷地が河川用地であり、河川占用許可が必要なことや民有保安林の解除手続きが残っていることなどにより1年遅れたようです。懸案事項が解決したことにより平成22年度の事業となります。

2番目の新庄・村山・次年子線の真木野地内の側溝整備については、町としても県に重点事業として要望しています。次年度は松橋に向かって右側側溝の整備を行うという回答をもらっています。その後、反対箇所の整備を引き続き要望していきます。

3番目の町道福寿野・岡矢場線の道路改良ですが、この道路も狭く、不便を来しています。また、4月が



叶内富夫 議員

町観光産業の振興策は

6次産業と結びつけた観光振興を



250万人達成 (若あゆ温泉)

【質問】 若あゆと古代ロマンの里作りをきっかけ、観光の振興を進めています。町のイベントの中に若駒まつり、東北輓馬舟形大会があげられます。29回を重ねた若あゆ祭りの売上げも、回を重ねるごとに減少が続き、3,000匹程度の売上げと聞き、心配しています。今年は30回の節目の祭りであり、賑やかで活気ある祭りを期待しています。輓馬舟形大会が継続的に開催されるのか心配されま

す。
【町長】 猿羽根山観光も参拝客を中心に減少しており、新たな資源の開発は。若あゆ温泉を中心としたあゆっこ村は、いろいろな複合施設が整備され利用者も順調に伸びています。縄文のヴィーナス土偶を前面に押し出し古代ロマンの里作りを。農業も活用の仕方により大きな観光資源になる可能性を秘めています。振興策をお聞きます。

【町長】 来年度の若駒まつりについては、焼鮎を喜んで食べていただけるよう低価格化を図るため、関係者と協議していきます。また、イベントについては、参加型のお祭りへ転換を図ると共に、特産品の開発や販売に繋げ、産業の活性化に寄与する祭りとしていきます。東北輓馬競技舟形大会については、県内からの出場が1頭という状況であり、「若者参加」や「ふれあい」をテーマとした投資効果の高いイベントへの転換を検討していきます。

【町長】 猿羽根山観光については、昨年「風の香も南に近し最上川」という松尾芭蕉の句碑建立除幕式を行いました。猿羽根山は、羽州街道としての歴史的文化遺産「猿羽根峠」が松尾芭蕉、齋藤茂吉両翁ゆかりの地となっていることから、歴史的文化的観光旅行商品としてPRしていきます。舟形若あゆ温泉については、順調に入浴者数を伸ばしてありますが、遊具の更新や常設グラウンドゴルフ場のPRを行い、また、県民ゴルフ場との連携を図り、更に入込み客の増を図る努



叶内太一 議員

うど山斎場の指定管理者制は可能でないか

斎場運営委員会に諮り対応



ウッディパーク利用拡大を目指して整備が待たれるグラウンドゴルフ場 (若あゆ温泉)

【質問】 舟形町と大蔵村の共同うど山斎場が運営されて二十年の歳月が経過している。メンテナンスや維持管理費も毎年相当額が予算が計上されている。効率の良いメンテナンスや維持管理、清掃等コスト削減につなげ

るために、指定管理者制に移行することが可能でないか。

【町長】 指定管理者制度のメリット、デメリットを検討し、行財政改革委員会や大蔵村とで組織する斎場運営委員会に諮り、住民満足度の高い、期待に応えられるサービスが提供できるような検討していきます。

設備の修繕については、計画的に実施していますが、町民の皆様が迷惑がからぬように、今後も年次的に修繕計画を立てて対応していきます。但し、斎場管理を指定管理者制度で行なうことも、規模が大きい設備修繕の場合は、指定管理者に行わせることはできないと考えています。

若あゆ温泉グラウンドゴルフ場の整備計画は

【質問】 9月議会で陳情を採択している。グラウンドゴルフ場の整備について、その対応はどの様に考えているか。

ウッディパークの位置付けとしてのグラウンドゴルフ場の整備があると思うが、考えはどうか。

【町長】 グラウンドゴルフ愛好者からの要望と温泉入浴者の拡大、そしてウッディパークの利用率向上を目指して、常設ゴルフ場を設置したわけですが、グラウンドゴルフのプレーに支障があるということで、遊具を更新する際に、愛好者の代表の方々の立会いと理解のもと、遊具の位置の変更と支障木伐採や草花の撤去を追加して実施し、9月議会に陳情された整備内容につ

いては、対応済みです。但し、園内の道路や片勾配となる東側部分などを全面的に改修することとなりますと予算が必要となり、堅穴住居を整備された方々の理解も必要です。また、常設コースもなれば、野球場やサッカー場テニスコートと同様に使用料条例を設定する必要も懸念されますし、児童交流や教育旅行での活用、遊具の更新に伴い子どもたちも増えていることから、園地の線引きもする必要があり、関係者と議論をしていきます。



森 晃 議員

新年度の基本方針と具体策は 地域のリーダーを養成し地域づくりを



ナラ枯れ伐採

【質問】 奥山町長は就任以来3年目の予算編成になるが、その成果に多くの町民が期待を寄せています。そこで、新年度の基本方針と具体策は、
雇用対策は農商工連携の開発も大切ですが、地元で働きたいと希望しても新規高卒者や若者たちの求職状況は厳しいようです。新庄

最上地方全体でなるべく定着させるためにも、これまで以上の地元企業に対する適切な育成支援が重要ではないでしょうか。
少子化や子育て支援の前に結婚問題があります。相談所の復活や出会いの場の仕組みづくり、二世帯住宅の改築支援などの方策も吟味すべきと考えますが。

【町長】 平成22年度は、第6次基本構想の初年度となることから、基本構想の4つの柱を念頭におき、まちづくり意見交換会などによる住民ニーズや住民満足度を考慮し、事業の重点化を図ることとしています。
主な重点施策は、農産物特産品開発実験事業や商工振興対策事業など緊急雇用対策に6,791万2千円、新たな水田農業対策に1,060万円、中山間地域等直接支払交付金事業に5,392万7千円、農地・水・環境保全向上対策に9,87万5千円、医師住宅の改築に3,256万円、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種や14回までの妊婦検診の無料化も実施します。
また、プレミアム商品券の発行や新たな地域のリーダーを養成する地域づくり支援事業も取組むこととしています。
企業懇談会などを行い、企業の要望等を聞いて既存企業の育成を考えていきます。
22年度に婚活の仕組みづくりを検討することとしています。また、子育て支援、若者定住支援、在来工法建設補助を全町に展開することとし、大型リフォームに対する支援も同様に全町で展開することとしています。この施策が二世帯同居の支援策としても活用されればと考えています。



八鍬 太 議員

地域再生の取り組みは

政策推進室や子育て支援室で検討



お遊戯会

【質問】 全国的な人口減少社会において、舟形町においても少子高齢化と過疎化への対応が大きな課題であり、町民の多くは定住対策と産業の振興を望んでいることは明らかです。

町では次期基本構想の中に「互助・共有・自立による協働のまちづくり」を掲げ、町民の連携・協力によるまちづくりを目指していますが、従来の仕組みや価値観から脱し、課題解決に向け地域の新しい仕組みや組織を立ち上げる早急な取り組みと意識改革が必要と考えます。

その試みとして、行政と町民の協働の気運を高め6次産業の推進、地産地消拡大や安全な食料の確保のため「食と農のまちづくり条例」や若者定住の促進や町をあげて子育て支援に取り組む「子育て支援条例」を制定し、婚活、就活を含めた定住や少子化対策の実施など、取組みの実施についての考えを伺います。

【町長】 少子高齢化と過疎化により、行政も地域も新しい仕組みによる地域再生が求められていることから、町では、その意識改革として、講師を招いての講演会の実施や集落機能の保全のための話し合いなどを推進するなど、地域づくりに力を入れているところです。
さて、第6次産業の推進については、農協など13団体で構成する舟形町産業振興本部会議を創設し、様々な産業が相互に連携しながら農産物などの加工品開発や農産物に付加価値をつける取組みを実施し、相乗的な効果を期待し実施していきます。昨年度は、クリスタルヴィーナスやベジタブルアイスなどの試作品を製作し、22年度も継続して実施します。
食と農のまちづくり条例の設定については、地産地消の推進や食料自給率の向

上と安全・安定的な食料供給などの基本理念が必要となります。このため、家庭、地域、学校、関係団体など、町民各層の意識の向上や醸成、県をはじめとした関係機関との連携、具体的な事業計画の策定並びに財政措置が必要となることから、先進的な市町村の取り組みを参考にしながら、今後の検討課題としていきます。
子育て支援条例の制定についても同様に、基本理念を定め、行政、家庭及び事業者の責務や役割などを明らかにし、地域ぐるみでの子育て支援体制や財政措置などを整理する必要があります。県の条例制定を参考にしながら、内部の政策推進室や子育て支援推進室で検討していきます。



佐藤 勝 議員

人口対策百年の大計を

毎日の行政の積み重ねで



堀内小学校卒業式

質問 町の人口は、現在6,370人ですが、40年後の町人口は1,700人と推計されている。

昭和29年の堀内村との合併当時は、約12,000人の人口があったが今日までの50有余年を経た今日では人口は半減した。このまま人口減少が進めば「町は消滅する」と思われます。

それには「産業の振興と人材の育成で「町人口百年の大計」を今から立ち上げるべきと思うが、町長の決意を聞きたい。

町長 よく十年一昔と言いますが現代社会では三年一昔と表現しても時代の急速な変化を捉えることは非常に難しいことだと思います。時間や空間の感じ方は立場や考え方によっては千差万別ではないかと思えます。「教育は100年の大計」とよく言われますが教育や人材育成には長い時間を要することを表しています。

100年という時間の重みに「歴史とロマン」を感じますが実態としてイメージが湧いてこないのが実感でもあります。

現在、10年後の舟形町を想定した第6次「基本構想・基本計画」を策定し審議をお願いしていますが、国や県においても総合計画の期間は最長でも10年間を一つの行政目標にしているようです。

100年間という期間は余りにも長く100年先を予測することは大変に難しいことではないかと思えます。

40年後の平成62年の舟形町の人口推計を1,728人と厚生労働省の「国立社会保険・人口問題研究所」が発表しています。

山形県の人口も今より40万人以上少ない793,268人と推計しています。

100年後の推計人口はありませんが、佐藤議員が言われるように行政に携わる者の使命として常に100年先を見据えた行政の執行でなければならぬと改めて感じています。

毎日の行政の積み重ねが100年後のより豊かな舟形町に繋がっていくことを信じて与えられた業務に全力を上げて取り組んでいきます。



沼澤正則 議員

定住人口増にむけての政策は

地域に育ち、地域を育てる町民の育成を



「石は過去からの手紙」
山形大学 大友幸子教授と岩石標本づくり（長沢遊々塾）

質問 視点①「舟形町で子育てがしたくなる」から第6次基本構想実現に向けて、郷土愛を育てる教育をどう実践していくのかをお聞かせください。また、児童交流学習の成果を広くPR

できれば、舟形町で教育を受けさせたいと思う人が増えるはずです。把握している具体的な児童の変容と保護者や地域の方々への啓蒙状況をお聞かせください。

視点②「デジタルデバイス」から

全ての携帯電話会社の機種が全町内で使えるようにする計画が必要と考えます。また、光ファイバによる高速通信網をさらに有効活用し、利便性をPRし、定住人口増につなげるべきと考えますが、加入状況とテレビ電話などの活用状況、今後の計画をお伺いします。

町長 ①舟形町では、次年度の教育目標として「地域に育ち、地域を育てる町民の育成」を掲げました。さらに、学校教育の目標に、3つの力（学習力、意思力、

実践力）と二つの心（思いやる心、愛郷心）を備えた児童・生徒の育成を設定しましたが、その一つに「愛郷心」郷土を愛し、地域活動の参加する子ども」の育成を掲げています。

児童交流事業は、現代の子供達が抱える課題の解決つまり、社会性や豊かな人間性の育成、発達段階に応じた体験活動を行うという意味から子供達に必要な学習と考えています。そしてその意義や交流学習によっての成果としての児童の変容等は、学校便りや、文化祭などのプレゼンの中で広くお伝えしていく考えです。

②デジタルデバイドの解消について

町内においては一部の電波の弱い地域がありますが計画的な電波塔の設置により殆どの地域でデジタルデバイスが利用できるようになっています。

テレビ電話の利活用については、福祉や子育て支援、健康相談等に利用されています。補助事業のため利用対象者や用途が制限されていますが、週1回以上の利用を目標に取り組んでいます。

更なる情報サービスの充実を図り定住対策の一環として超高速通信網を活用した情報発信体制の拡充に努めていきます。

活 気あるまちづくり調査特別委員会

第6次基本構想・基本計画への提言

- 町執行部から提示された基本計画(案)について、検討を重ね集約しました。
- 基本構想を策定する上で基本計画及び実施計画との関連が重要であることに留意され、的確に反映されるよう町長に提言すべきと決定しました。
- なお、特別委員会では基本計画が重要なものと認識し、計画に対し、次の項目を加えるよう提言することとしました。
- 人口増を目指すまちづくり
- 企業誘致の推進や工業用地について、本町だけの問題だけでなく、新庄市を中核とした最上地方全体の最重要課題である。早急な整備促進が必要である。
- 結婚支援の施策
- 産業・観光・生活道路の整備
- 農道の整備
- 住民への情報提供システムの整備の検討
- 医師定住、確保の環境整備
- 利雪への取り組み
- 高齢者への火災予防施策の充実
- 合併浄化槽設置の計画的推進
- 農業用水利用の小規模発電事業への取り組み
- 機械利用組合の設置支援事業
- 自立経営のできる所得目標
- 若あゆ温泉と猿羽根山の観光振興
- 医療費の中学・高校生までの無料化
- 小学校の統合の取り組み
- 青年学級開催事業支援
- 地域支援員(仮称)の制度の整備
- 青年・女性の組織作りの支援
- 提案型行政の展開

文教民生常任委員会

1月28日に町内全小中学校を視察し、各校長から学校経営全般について説明を受けました。

(1)各小学校では、英語活動、国語への取り組み、朝の自主、家庭教育の強化など特色ある取り組みがなされていました。また、3小学校で少人数による複式学級が生じていますが、少人数学級や複式学級に対応した取り組みがなされていました。

(2)中学校では、「生徒の授業態度など、大変落ち着いた立派である。」との教育事務所の指導訪問の評価でした。インフルエンザの影響で、授業時間数の確保のため、部活動なしの8時間授業に取り組んでいました。

(3)小中学校とも、順調に学校経営がなされ学校予算について不足であるという要望はありませんでした。小中学校とも、順調に学校教育が展開されていました。



学校視察(長沢小学校)



文教民生常任委員会(川俣町)

2月4日、5日に学校統合について取り組みを進めてきた福島県「川俣町学校再配置5カ年計画」について研修をしました。

川俣町議会としては、5カ年計画策定以前までは町が各学校の改築に取り組んできたこともあり、教育委員会が5カ年計画を説明し「よつこしました」が、地域の学校を維持するべきとの立場から応じず、計画推進までの空白期間が生じたとのことでした。

反対を続けることにより、児童を持つ家族の転出が始まり、このままでは地区住民の融和がなくなり、地区の衰退につながるおそれがあるとの判断から、地区住民が計画について理解を示し始めたことでした。

舟形町の学校教育がどうあればよいか、信念を持って対応する教育委員会の姿勢が一番重要で、町の将来を担う子どもたちの流出を防止する上からも保護者の不安を解消するため、早急に小学校の統合に対する目標年度や実施計画を設定し、今後の方針などを提示する必要があります。

議会運営委員会

議会活性化のために、次の取り組みをすることに決定しました。

1、議会報告会について
今年より、町内各地区において議会報告会を開催する。第1回として、今議会終了後3月15日から20日までの4日間、町内8カ所を2班に分かれて行うこととする。

2、中学生議会について
地方議会制度について、若い世代の関心を高めていただくための取り組みとして、22年度から継続的に中学生議会を開催する。来年度は初めての開催になるため、11月頃の開催を目標に行います。



☆シリーズ

一般質問のゆぐえ

(平成20年3月定例会)

質問

小学校の統合をどう考えるか。

答弁

適正な学級規模やあるべき姿について、保護者や地域住民の方々と議論し教育的な見地に立って「検討委員会」の開催を計画致します。

現状

少人数複式学級の解消を目指し、昨年、保護者を対象に「教育懇談会」「アンケート調査」を実施しました。今年度は、地域に入って、教育環境の在り方を語っていくつもりです。

総務振興常任委員会

2月4日、5日に、総務振興常任委員会所管事務調査として、直売所の開設の経過と現状、行政との関わりについて、福島県伊達市、伊達みらい農協経営産直施設、みらい百彩館「んめくべ」の視察研修を行いました。

地産地消を第一に、消費者と生産者の交流の場として、「安心安全、新鮮な地産農産物、加工品等を消費者へ提供」、「年間を通じた伊達地方の豊富な種類の農産物の有利な販売」により、「農業所得の向上、多様な農業経営の普及推進」を図り、伊達地域の農業振興と地域活性化に貢献できる施設として開設されて



伊達みらい視察（伊達市）

いました。農業、農村の多面的機能の発揮と活用、21世紀を担う「次世代との共生」を基本に農村と都市、企業、組織、そして人々がお互いの役割を認め合い、恩恵を相互に受けながら持続可能な経済と均衡ある社会の発展を目指すという大きな目標を掲げていました。米、キュウリ、イチゴ、もも、あんほ柿の5品目を中心に花卉、菌茸、畜産など様々な作物が生産されていました。直売所は地産地消を推進し、地域農業の活性化、生産者の手取りアップ、流通の促進とブランド認知の向上を図るため、売上高目標を初年度は2億円、3年後に5億円、5年後には7億円と設定していました。市場価格、スーパー価格を参考に、価格基準表を週毎に提示し、それをもとに生産者が希望価格を決めていました。販売戦略としては、東京のデパートとの契約やテレビCMの活用がありました。共選品や生活必需品のコーナーもあり、来店者の利便性を図るような工夫がありました。規格外の生産物の販売に向け、加工品、乾燥野菜の開発にも取り組んでいて、乾燥機は、市の助成を半分受けて購入したとのことでした。

また、12月からは、市の委託を受けて高齢者世帯への配食サービスを行っていました（車11台、13人雇用、10時に出発し12時30分に戻る勤務。昼食時に弁当を届けることで高齢者の安否確認ができるという成果の報告もありました。

伊達市の支援として、アクセス道路の整備、備品の購入補助、配食サービスの委託がありました。

舟形町の喫緊の課題である高齢者・一人暮らし世帯の安否確認、特産品開発への支援について、大変参考となる研修でした。

このたび、舟形町議会では初めての取り組みとして、地域に向いて議会報告会を開催しました。議会報告会の目的は、議会活動などの報告と町政に関する情報を提供することにも議会活動に対する意見などを直接お聴きして、議会の活性化に努め、住民に信頼されるまちづくりを実現しようとするものです。詳しい内容は議会だより7月号で報告します。



長者原地区議会報告会

議会報告会



大平地区議会報告会

議会報告会の日程

開催期日	開催場所	担当者
3月15日（月） 午後7時から9時	幅高齢者コミュニティセンター 長沢生涯学習センター	1班 2班
3月17日（水） 午後7時から9時	舟形町中央公民館 2階和室 大平公民館	2班 1班
3月19日（金） 午後7時から9時	長者原公民館 太折公民館	2班 1班
3月20日（土） 午後7時から9時	堀内生活改善センター 2階和室 西又公民館	1班 2班

1班議員団 沼澤正則・加藤憲彦・野尻益夫・佐藤 勝・信夫正雄
2班議員団 大場清之・叶内富夫・叶内太一・森 晃・八鍬 太

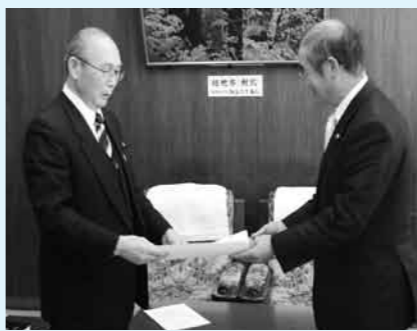
教育委員会委員の再任に同意

任期は

平成22年4月1日より
平成26年3月31日まで



大場 輝美氏
舟形町長沢1206番地2
(68歳)



第15回山形県町村会報コンクールで、「議会だより ぶながた」第137号（平成21年1月発行）が入選となりました。皆様のご愛読に感謝いたします。

請願・陳情

継続審査となっていた陳情
市町村管理栄養士設置に関する陳情

継続審査

声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしております。

私は山交観光(株)新庄案内所に勤めており、旅行の営業を行っています。主に舟形町を担当させていただいており、町民の皆様を旅行にお誘いしています。

仕事柄日本全国の観光地へ添乗員としてお客様と一緒に出かけられる機会が多々あります。そこで感じるのが舟形町の観光についてです。舟形町の観光資源といえば日本最大の土偶、舟形町若あゆ温泉、日本三大地蔵「猿羽根山地蔵尊」などがありますが、これらを知っている人はまだまだ少ないと思います。これは舟形町に限ったことではなく最上地域全体に言えることだと感じます。舟形町だけが単独でがんばってもなかなか難しいと思いますので、最上郡が団結して取り組み最上郡の観光を盛り上げてほしいです。

その為にも舟形町の皆様にはいろいろな観光地へお出かけして、見聞を広げていただきたいと思います。



沼澤 清太さん
(舟形第2)

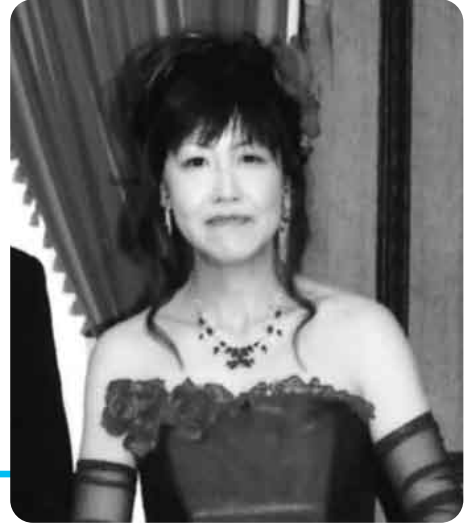


新シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。



えがったなあ



□どんなきっかけで彼（ご主人）と知り合いましたか？
会社の先輩の紹介で知り合いました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？
地域の方々がみんな仲良く、気さくで、とても温かい町だ
と思います。お祭りや行事など、若い世代の方の参加も活
発で、伝統も大事にしている町だと思います。

□舟形町での生活はどうですか？
舟形は私の両親が育った町なので、同じ空気、景色を感じ
ながら生活することができ、うれしいです。また、私は山
菜が好きなので、おいしい山菜を食べられるのが楽しみです。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？
良いところは、山や川に囲まれ、自然が豊かなところ。
悪いところは、今のところありません。

□舟形町に望むことはありますか？
これからずっと、子どもからお年寄りまで、みんなが安
心して安全に暮らせる町にしたいです。

舟形町に嫁いで来たお嫁さん、今回は新庄市から内山に嫁いで来た叶内容子(旧姓藤澤)さんです。皆さんよろしくお願ひします。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)
町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111

編集後記

舟形町議会では初めての取り組みとして、地域に出向いて議会報告会を開催致しました。議会活動などの報告と町政に関する情報を提供すると共に、議会活動に対する意見などをお聴きしました。各会場においてをいただきました。各会議会の活性化に努め住民に信頼される町づくりを進めていきます。

さて、4月1日から町民のご理解をいただき消防署南支署(福寿野)が開署されました。春の火災予防週間でもあります。火の取り扱いには十分に注意をお願いします。
(加藤 憲彦記)

議会広報特別委員会

議長 信夫 正雄
委員長 叶内 富夫
副委員長 野尻 益夫
委員 大場 清之
加藤 憲彦
沼澤 正則